

世界自閉症啓発デー in Hakodate 2026 企画募集のお知らせ

あなたのアイデアで自閉症に対する理解を広げましょう！

企画募集の趣旨

世界自閉症啓発デーは、国連が毎年4月2日に制定した自閉症に関する国際デーです。自閉症は、コミュニケーションや社会性の発達に影響を及ぼす先天的な脳の特性で、正式には「自閉スペクトラム症」と呼ばれます。「スペクトラム」とは「幅が広い」という意味で、障害の有無や程度が一目でわかる人から、個性の一つと捉えられるような軽度な特徴を持つ人まで、その表れ方や影響は個人によって大きく異なります。自閉スペクトラム症と診断される人たちは世界中で増えており、現在は100人に1～2人、あるいはそれ以上の割合でいると考えられています。

世界自閉症啓発デー in Hakodate は、4月2日の世界自閉症啓発デーを中心に、自閉症に対する関心や理解を高めるためのイベントを開催するプロジェクトです。自閉症の人たちや家族だけでなく、だれもが「参加してみたい！」と感じ、様々な人たちが垣根を超えて一緒に参加できるような、楽しい企画を実施しています。実行委員や外部の個人・団体が協力して運営しているこのプロジェクトでは、2026年のイベントに向けて、より多くの人たちに自閉症について知ってもらうために、新たな企画を募集します。あなたのアイデアで自閉症に対する理解を広げましょう！

企画募集の条件

企画の原則

1. 普段は自閉症とはかかわりがなく、関心も薄い人たちでも参加したくなるような魅力的な企画であること
2. 自閉症に対する関心や理解を高めるための工夫が盛り込まれていること
3. 提案した個人・団体が企画の実施主体となること

資金提供と会計について

以下のような場合には当実行委員会の会計は通さず、企画内で会計を完結していただきます(実行委員会からの資金提供は行いません)。

- 参加料の徴収や製品の販売などを伴う有料企画(当実行委員会制作のオリジナルグッズの販売については、その部分のみ当実行委員会の会計となります)
- 制作体験など参加者が持ち帰ることのできる物品を提供する場合(実費徴収などにより企画内で会計を完結していただきます)
- 世界自閉症啓発デーとは独立に通常実施している、またはその延長線上にあると認められる企画

※ 使用備品や会場費等、世界自閉症啓発デーに適した内容とするための追加的な措置が必要な場合(世界自閉症啓発デーに合わせた企画のみで実施される内容を含む場合)には、物品の提供や費用の援助を行うことがあります。

実行委員会の会計に含まれるのは、次のすべての条件を満たす企画の経費です。

- 自閉症の啓発に資するイベントであること
- 参加費が無料であること
- 参加者に対して制作物や景品などの本来有償であるべき物品の提供がないこと(啓発カードやチラシなど無償で配布するのが適当であるものを除く)
- 企画者とは独立の外部ゲスト招聘や外部の会場費など一定の経費を必要とし、それが費用に見合った効果的な自閉症啓発につながると考えられること
- 企画検討会議で、会計からの支出が適当であると認められること

※企業様による独自企画や応援企画も歓迎いたします。詳細は事務局までお問い合わせください。

企画募集の方法

別紙企画提案書をご覧ください。

ダウンロードページ URL: <https://liubhakodate.com/?p=3237>

お問い合わせ先

世界自閉症啓発デー函館地域実行委員会

〒041-0802 北海道函館市石川町 41-2

ゆうあい会石川診療所内

TEL 080-9686-5764

FAX 0138-47-8496

E-mail blue.hakodate.hkd@gmail.com